

4月14日(火) 放送による校長あいさつ

皆さん、おはようございます。

既にご存じのとおり、広島市立の学校は、明日15日から再び一斉臨時休校に入ることとなりました。始業式に友人と再会を喜び、あるいは入学式で新しい出会いに心ときめかして間もなくの判断であり、非常に残念ですが、各地で感染者が急増している現状においては、命を守るためにやむを得ない判断であると思っています。

2度目の臨時休業に入るに当たって、皆さんには3つのことをお願いします。

1つ目、舟入高校生は自分を律する力を持っていると3月の臨時休業期間に示してくれました。2、3年生は再び、そして1年生は今、その力を発揮してください。広島県では、5月6日まで、平日・休日を問わず外出自粛要請がでています。分散登校日以外は原則として自宅で過ごしてください。時間割と同じ時間で50分ずつその教科の課題に取り組んでください。課題が出ていない教科は、自分で範囲を定めて教科書を読み、内容をノートにまとめてみてください。体育の時間なら家の中でできる運動に取り組んでください。3月は1年間の復習が中心だったと思いますが、今回は今年度の学習内容に踏み込んだ学習となります。自分一人では理解できないところは、登校日や学校再開後に先生に質問できるよう、リストを作っておきましょう。始業式でお話したように、当たり前のことを当たり前ではない質、回数とともにひたすら意味のあることだと信じてこなすのです。

2つ目、自分のことでいっぱいになりがちな今だからこそ、周囲の人に気配りをしてください。感染が拡大している今、不運にも感染してしまった人への非難や差別的な言動はしないでください。このウイルスに感染した人は、その事実だけで心身ともに傷ついているということを忘れずにいてください。また、今朝の中国新聞にもあったように、そうした誹謗中傷により感染者が口を閉ざし、感染をさらに拡大させてしまうことにつながりかねないので、そして、みなさんの家族や前線で闘ってくれている医療従事者はもとより、食料や日用品などの流通や販売に携わっている人など、日常生活が通常に近い形でできるよう支えてくれている人に感謝の気持ちを持ってください。

最後に、始業式で2,3年生の皆さんにお話したように、弱い自分も認めてあげてください。自分なりのストレス解消法を見つけてほしいと思いますが、それでも、家で過ごす時間が長くなり、気持ちが滅入ったりイライラしたりすることもあると思います。そんな時には、家族や、先生や、スクールカウンセラーに自分の気持ちを伝えてください。学校に電話してくれてもかまいません。先生たちも皆さんのために何ができるか一生懸命考え、工夫しています。再度この臨時休校を乗り切り、再び皆さんの笑顔に会えるのを楽しみにしています。

校長 柳 智子